

# 「職業人へのインタビュー」ワークショップ

支援団体 NPO 法人 16 歳の仕事塾

授業時間 2 コマ

## 【プログラムのねらい】

### 高校生活や仕事について考える

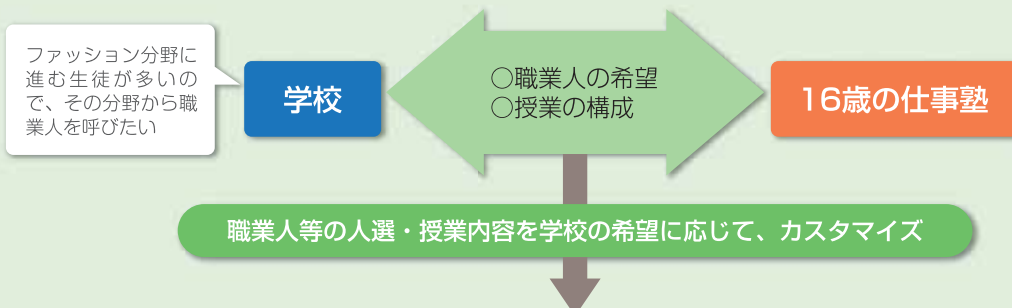
- 職業人へのインタビューを通して、職業人自身の高校生時代の話や職業を選んだきっかけ、仕事をする上で大切なことなどを知り、生徒は自らの将来を考えるヒントを得る。

### 人から話を引き出す「コミュニケーションスキル」を学ぶ

- インタビューの仕方を学ぶことで、見知らぬ他人や異世代との会話の仕方、話の聞き出し方を学ぶ。

## プログラムの流れ

### ① 「学校」と「NPO法人16歳の仕事塾」の打合せ



### ② 授業実施例 ※各クラスに職業人とファシリテーターの2名を配置して進行

1時限目

#### 職業人からの授業

- 「高校生時代から今の仕事をするまで」
- ・ 高校生の頃の生活、取り組んでいたこと
- ・ その後今の仕事を選択した理由

1



#### インタビューの見本をみる。

- ・ ファシリテーターが職業人へインタビューする様子を見る。

2



2時限目

#### インタビューの仕方を学ぶ。

- ・ ファシリテーターからインタビューのポイントを学ぶ。

3

#### 生徒が職業人にインタビューする。

- ・ グループ単位で生徒から職業人にインタビューをする。

4

## 【都立高校での導入】

平成 26 年度は、8 校の都立高校で、1 学年を中心に各学期に導入されています。

支援者の声

### ■ NPO法人16歳の仕事塾 理事長 堀部 伸二さん

このプログラムは職業人とファシリテーターの二人で授業を進めます。職業人は学校のご要望に応じて、グローバルに活躍している人からクリエイターまで様々です。授業の後半、職業人に対して生徒たちがグループでインタビューすることにより、職業人本人に興味を持ち、将来を考えるきっかけやヒントを得られ、更に大人とのコミュニケーションの練習にもなっています。ファシリテーターが丁寧に生徒の職業人への質問を促し、質問のよかった点をコメントすることで生徒は自信を持ち、先生も驚くほど積極的に質問をします。「うちの生徒が、こんなにも興味を持って職業人にいろんな質問ができるとは思わなかった。」という先生の声を数多くいただいています。このワークショップでの体験が、仕事に興味を持ってもらうと同時に、近い将来では進路での面接・インターンシップなどで、また実際に社会に出たときは異世代との、そしてこれからは外国人とのコミュニケーションの機会に生かされることを願っています。

